



信太の森ニュース

No. 31
2018年12月31日

文責 田丸八郎



今年の元旦は晴天に恵まれました。正月にここに立つとこの自然環境に自ずと手を掌わせたくになります。

信太山丘陵市有地の大型スポーツ施設建設計画を何としても食い止め、里山自然公園を実現したいと「信太の森FANクラブ」を立ち上げたのが2008年11月です。早いものであっという間に10年が過ぎました。

「北部地域整備事業計画」でSゾーンに大型スポーツ施設が建設されることを知ったのは2005年でした。

事業計画が発表されたものの財政難の折から和泉市は5年間事業を凍結しました。その当時「信太山丘陵を考える会」が立ち上げられましたが、2年くらいで自然消滅してしまいました。

それから2年間、何とかしなければと悶々とした日を送りました。「里山クラブ」のようなものを結成してはどう

かとネイチャークラブで一緒していた前代表の花田さんに相談したところ「やりましょうよ」ということになり「信太の森FANクラブ」を立ち上げることになりました。

それから10年、関西自然保護機構や大阪自然環境保全協会等の支援を得ながら「信太山丘陵に里山自然公園を求める」連絡会が結成され、連絡会のみなさんと一緒に「請願署名」を取組み、それが採択されて現在「信太山丘陵里山自然公園」の平成36年一部開園目指して公園協議会で活動を行っています。

31年度は都市計画決定により一部開園に向けてまた一步動きだす年になりそうです。

NPO法人 信太の森FANクラブ
事務局：〒594-0013 大阪府和泉市鶴山台3丁目4番1-202
電話 0725-45-7357
E-mail tamahati@amber.plala.or.jp

公園協議会の動き

10月、11月の活動日は車道西側の草原復元地の草刈を行いました。

草原復元地のネザサは毎年刈り取っていますが、成長が早く1年で1mほどに成長してしまいます。ネザサだけならまだ刈易いのですが、それにクズの蔓が巻き付き、それを刈払うにも相当体力を消耗します。

刈り取ったネザサなどは広いブルーシートに載せて4人がかりで運んでいます。これはこれで単純なだけにうんざり感を持つ人もできます。

こうした作業だけに初期に里山講座を受講した一般市民参加者の中には参加しない人がでてきており、活動日を楽しいものにするためにクラフト作りなども行われています。

活動日の午後から毎回利用調整会議が信太の森ふるさと館で行われていましたが、これもみんなが参加できるように10月から天気がよければ現地で弁当を食べ、その後で車座になって話し合う形式も取り入れながら実施していくことになりました。

11月の利用調整会議では、前回の会議でベンチが欲しいとの会員の要望を受け、竹材を使って椅子（ベンチ）作りをしてはどうかと提案があり、椅子づくりをするならロープの使い方を知らなければという意見を受け、今回はロープワークを行うことになりました。

大阪自然史フェスティバルに参加

11月17、18日に開催された大阪自然史フェスティバル2018に参加しました。

今回も信太山丘陵の自然と保全活動を紹介し、保全活動への参加を呼びかけました。出展ブースには二日間述べ12名の会員がブースを担当しました。

初日のブースで感じたことは、子供連れの来場者が私たちのブース前を素通りしてしまうことに、来年度以降は子供が興味を引く何

かをしなければと反省しました。その反省のもと二日目には過去にアベノハルカスで開催された「森が好き」のイベントで作成した“どんぐりアクセサリー”をテーブルに並べて販売したところ、親子連れもFANクラブのブースを覗いてくれるようになりました。ちなみに一つ100円のアクセサリーは9つ販売できました。



2日目は子供連れもブースに

大阪みどりのトラスト協会 30周年記念感謝祭

11月4日（財）大阪みどりのトラスト協会の創立30周年記念事業として「30周年記念感謝祭」が南港のATCホールで開催されました。

記念事業では写真家で里山の自然をテーマに撮り続け、里山関係のテレビでもお馴染み



里山を語る今森光彦氏の今森光彦さんの講演に続き、石井実会長と今森さんのトークショー。続いて府下8つの

の保全団体による活動報告がおこなわれ、信太の森FANクラブも惣ヶ池湿地の保全活動と希少種の保護について報告を行いました。

惣ヶ池湿地の外来種とその駆除

惣ヶ池湿地には外来種が8種あります。植物ではキショウブ、スイレン、アメリカセンダングサ、メリケンカルカヤ、アレチヌスビトハギの5種、昆虫ではムラクモカレハ、両生類のウシガエル、甲殻類のアメリカザリガニです。

この中でほぼ駆除できたのがアメリカセンダングサ。今年度は数本抜き取るだけで済みました。みなさんにその植物の形状、特徴を知って貰い、目についたら抜き取って貰うことにしていました。

スイレンは4年前から胴着を着て池の中に入り、根っこから掘り取り作業を行い、池の中の90%は除去しましたが、池外の湿地に侵入して広がった根っこの除去はこれからです。この掘り取り作業は、他の草と混生しているのでこの除去には数年はかかりそうです。

12月の活動日はキショウブの掘り取り作業を行いました。これは地下茎に根毛が生えているのでスイレンよりも力と手間もかかりそうです。この種はスイレンのように掘り取るだけならいいのですが、掘り取って積んでおくと地下茎からまた芽を出して成長します。そこで掘採った根株を鉋鎌で細かく切り分け、半乾燥した後地下茎と根毛・土を切り離し、地下茎が目を出さないくらいに乾燥させて廃棄する必要があるようです。

こんな手間を掛けずに遮光シートで覆うだけで腐敗させることができれば手間もかからないのですが。試してみる必要がありますね。

繁殖力が強くやっかいな植物だけに外来規制種に指定されるはすです。

メリケンカルカヤ、アレチヌスビトハギはまだ少数なため手をつけていませんが、いずれも根っこから掘り取る必要のある植物です。

ムラクモカレハは、ムラクモカレハガの幼虫（毛虫）で、その毛が刺さると人によってはアレルギーを発症する毒蛾と言われてています。

このガの幼虫は草の葉や笹の葉に包まって蛹になりますが、包まった葉を突き抜けて棘を出します。その棘はガラス質で刺さると取り除くのに苦労します。

10数年前に信太山丘陵で初めて発見されたということでこれまで観察するだけで放置してきたのですが、草刈などで被害も多く、泉北丘陵まで生息が広がっていることから昨年から見つけ次第駆除することにしています。

ウシガエルについては、成体駆除が難しいことからオタマジャクシの時に網で囲い込み、手編みですくいとって駆除しています。

11月の保全活動日に4人が胴長を着て池に入り、網を張って追い込んでアメリカザリガニとともに100匹以上駆除することができました。

成体を駆除しない限りオタマジャクシの駆除だけではイタチごっこになりますが、近くに大きな池がある以上こうした作業で繁殖を抑えていく以外に方法はないようです。



ウシガエルのオタマジャクシ捕獲作業

信太山丘陵あれこれ

台風21号の爪痕がまだまだ残る信太山丘陵ですが、台風で枝を折られて丸裸になったアベマキは修復しようと青々とした新緑の枝葉を出しています。

一方年末までには落葉して丸裸になるコナラでは、黄葉した葉をつまま年を越すのがあります。枝を折られなくても台風に痛めつけられたためなのでしょう。

信太山丘陵の晩秋を飾る草花にアキノキリンソウとホソバリンドウがあります。今シーズンはホソバリンドウを市有地内、惣ヶ池湿地の10ヶ所で見ることができました。

いつになく多くの場所で観ることができました。惣ヶ池湿地では一か所に10本ほど纏まって咲き、市有地内でも群落を見つけることができました。

晩秋の草花が終われば2月のフキノトウ、早春のフモトスミレの順で春を迎えるのですが、惣ヶ池湿地の南西斜面では12月31日というのにフモトスミレが咲いていました。ツツジにしても狂い咲きの多い年でした。

野鳥はどうかというと、今シーズンはめっきり少なく、特に水鳥が激減していて、惣ヶ池でオオバンなど20羽程度。その上の貯水池にキンクロハジロが20羽程。大野池ではほとんど姿を観ることができず野鳥ファンにとってはさびしい限りです。

これも台風の影響でしょうか。



惣ヶ池湿地で群生したホソバリンドウ

里山を守る映画と講演会のご案内

メール会員の方には既にお知らせしていますが、先の大阪自然史フェスティバル会場で、見出しに係る「映画と講演会」の後援団体要請がありました。

これは、長崎県のハウステンボスのすぐ近くにある川棚町にダム建設計画があり、貴重な里山の自然を残そうとする人たちの映画「ほたるの川のまもりびと」の上映と前滋賀県知事：嘉田由紀子氏による講演会「洪水多発時代の治水政策」の開催に係るもので、信太の森FANクラブも（公社）大阪自然環境保全協会など14団体と共に後援することになりました。

映画上映企画書

「ほたるの川のまもりびと」

長崎県佐世保市の川棚川の支流石木川川原（こうばる）地区に1962年石木ダム建設計画があり、1975年に建設省が石木ダムの全体計画を認可、2004年全戸66戸の内53戸が移転 残り13戸がダム反対を続けている。このダムは治水では僅か2m幅の川で川棚川の支流であり、海も近く必要性がない。・利水では造船の町も不景気で人口減少しており、利水が今後増えるとの予測は納得しがたい。全く必要のないダムにも関わらず、行政が自然環境や里山の文化まで壊そうとしている。住民の日々の生活が私どもが大切にされて来た里山の文化をまもっている。

できるだけ多くの方の参加により映画会を成功させたいと思います。

○日時：2019年2月16日（土）
午後6時～午後9時

○場所：大阪国際交流センター2F小ホール
大阪市天王寺区上本町8-2-6
地下鉄夕陽丘と谷丸の間で上本町筋
沿いにあります。

*参加される方は、FANクラブでまとめて申込みますので、1月15日までにメール又は電話で事務局に申し込んでください。
事務局電話：090-1225-9159
田丸までお願いします。